

4課 あらかじめ味わった宣教（使徒11:19）

フォーラムしよう

「私は宣教的存在」

アンテオケ教会が始まる、とても重要な場面です。

私は最初から宣教的存在として造られた。

私は最初から宣教的存在として救われた。

このことをフォーラムしましょう。

神様は、ご自分のかたちとしてアダムを造り、
造られたすべてのことをアダムに与えて言されました。

（創世記1:28）

神は彼らを祝福された。神は彼らに仰せられた。「生めよ。ふえよ。地
を満たせ。地を従えよ。海の魚、空の鳥、地をはうすべての生き物を
支配せよ。」



マルコの屋上の間で集まって、キリスト、神の国、聖霊の満たしを祈った初代教会は
すばらしい教会でした。

しかし、1つがたらなかったのです。

それが「宣教」です。

なぜ、聖霊に満たされ、現場を生かす、現場伝道弟子の重職者になったのかを
エルサレムの教会の人々はわかりませんでした。

そのとき



使徒11:19-20

さて、ステパノのことから起きた迫害によって散らされた人々は、フェニキ
ヤ、キプロス、アンテオケまでも進んで行ったが、ユダヤ人以外の者にはだれ
にも、みことばを語らなかった。ところが、その中にキプロス人とクレネ人が
いくにんかいて、アンテオケに来てからはギリシャ人にも語りかけ、主イエスのこ
とを宣べ伝えた。

アンテオケに行った人を通して異邦人にもみことばが宣べ伝えられました。

そして、使徒11:26

かれあへって、アンテオケに連れて來た。そして、まる一年の間、彼らは教会に集まり、大ぜいの人たちを教えた。弟子たちは、アンテオケで初めて、キリスト者と呼ばれるようになった。
ここが、とても大切です。

「キリスト者」と呼ばれたのはアンテオケ教会からです。

宣教という神様の願いをにぎったということです。
教会として立てられた自分は、宣教的存在だとにぎったのでした。

私たちも、自分の存在は、すでに237か国、世界福音化のために選ばれて召された存在だということをのがさないようにしましょう。

パウロだけが異邦人や王たちのために選ばれたのではなく、私たちひとりひとりが
いまから来る時代を生かす、世界を生かす世界福音化の主役の宣教的存在だということを
深く黙想してフォーラムしましょう。

